



## 中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	令和4年1月17日（月） 14時00分～16時50分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長                    竹田 宣典（大学院教授） 委 員                    西村 伸一（大学院教授） 委 員                    村上 恵子（大学教授） 委 員                    山田 希恵（公認会計士）	
審議対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和3年9月30日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 (WTO対象)	1件	
一般競争入札方式 (WTO対象外)	4件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
簡易公募型プロポーザル	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	説明・回答
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 令和3年4月1日～令和3年9月30日）

【道路】

種類	入札方式	件名	工種／業種／分類	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所	備考
工事	一般競争(WTO対象)	令和3年度木与防災木与第1トンネル工事	一般土木工事	29	7,628.159	92.00%	山陰西部 国道	本官
工事	一般競争	令和3年度簡易パーキング西条駐車場上屋新築他工事	建築工事	1	112.200	99.32%	広島国道	
業務	簡易公募型プロポーザル	令和3年度倉吉管内道路ストックマネジメント検討業務	土木関係建設コンサル タント業務	1	31.548	100.00%	倉吉	
役務・物品	一般競争	令和3年度島根管内自動車起終点調査	役務の提供等	2	60.775	99.00%	道路部道路 計画課	本官

【河川】

種類	入札方式	件名	工種／業種／分類	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所	備考
工事	一般競争	令和3年度広島西部山系5043溪流砂防堰堤外工事	一般土木工事	3	401.500	98.18%	広島西部 山系砂防	
工事	一般競争	令和3年度土師ダム噴水設備整備工事	機械設備工事	1	45.100	98.82%	土師ダム	
業務	簡易公募型競争入札	令和3年度佐波川真尾地区設計他業務	土木関係建設コンサル タント業務	4	32.010	97.91%	山口	

【営繕】

種類	入札方式	件名	工種／業種／分類	入札者数	契約額(千円)	落札率	事務所	備考
工事	一般競争	令和3年度西大寺税務署空調設備その他改修工事	暖冷房衛生設備工事	3	65.670	97.92%	岡山営繕	

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事                  2) 入札方式別発注業務                  3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等                  4) 指名停止等の運用状況                  5) 談合情報等の対応状況                  6) 再度入札における一位不動状況                  7) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況                  8) 一者応札の発生状況                  9) 不調・不落の発生状況                  10) 高落札率の発生状況</p> <p>Q 1. 一者応札、不調・不落、高落札率のグラフについて、令和元年度～令和2年度前半の高落札、不調・不落の発生率が高くなっているが、原因は何か。</p>	<p>A 1. 平成30年7月豪雨で大規模な災害が発生し、発注件数が増えることにより、技術者不足が生じ、選択的応札となった結果ではないかと考えられる。</p> <p>受注可能業者数は大きく変動しないため、一者応札、不調・不落が増えているものと思料。</p>
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 令和3年度木与防災木与第1トンネル工事</p> <p>Q 1. 無効者数が18者と多くなった要因は何か。</p> <p>Q 2. 技術点60点満点の業者が多く、差があまりないのはなぜか。</p>	<p>A 1. 予定価格に対して、調査基準価格を設けている。調査基準価格とは、この金額未満で入札した場合、工事の品質に問題が生じる基準として設けた金額である。この調査基準価格を下回ったため、施工体制確認の追加資料を依頼したが、資料の提出がなされず無効となった。</p> <p>当工事において、調査基準価格は予定価格の約92%である。18者とも調査基準価格を下回った幅は0.1%以内であった。</p> <p>工事の規模が大きく、利潤も大きいため、各者が受注のため調査基準価格ギリギリを狙った結果と推測される。</p> <p>A 2. 技術提案のテーマであるトンネル本体の品質・耐久性向上に関する施工計画に関して、トンネル掘削、吹付コンクリート、ロックボルト孔の施工の3つの提案項目があるが、各者とも好成績であった。</p>

<p>Q 3. 入札価格が各者とも数万円の差となっているが、差が出ない理由は何か。</p> <p>Q 4. 技術点、入札価格が僅差になると、一般競争入札において、どこで差を付けるのかが今後の課題となるのでは。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>トンネル工事は毎年度発注しており、契約後、希望する者は技術提案に関して、面談ができることとなっている。各者とも技術提案の作成や面談の回数を重ね研鑽されたことにより、技術点が上がってきていると考えている。</p> <p>A 3. 歩掛や単価が公表されており、各者そういった情報を集めて積算を行うため、僅差になると考えている。</p> <p>A 4. 満点の者が多くなると、価格競争の要素が大きくなってしまふ。技術提案評価型の趣旨から言っても、技術点で差がつくように評価テーマや評価基準についても見直しをかけているところである。</p>
<p><b>2) 令和3年度簡易パーキング西条駐車場上屋新築他工事</b></p> <p>Q 1. 競争参加資格について、1者が「無」になった理由は何か。</p> <p>Q 2. 大規模な駐車場を設置した目的・用途は何か。</p> <p>Q 3. 本工事の上屋内で物品等の販売も行うのか。</p> <p>Q 4. 入札説明書4.(5)に、「海外インフラプロジェクト技術者認定表彰制度～施工実績を有していること。」と記載されている意図は。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 参加者の同種工事の施工実績について、「鉄骨造（軽量鉄骨造及び建物全体がユニット製作によるものを除く）」としていたが、当該者は「鉄筋コンクリート造」で提出したため、競争参加資格「無」となった。</p> <p>A 2. 道の駅は道路利用者の休憩施設として使用することを想定している。道の駅のような休憩施設は、東側は竹原、西側は広島市西区の佐方まで行かないと無いのが現状である。</p> <p>A 3. 東広島市が主体となり、物品販売も行う予定。</p> <p>A 4. 日本企業が海外で工事を受注する機会は多く、技術者として派遣された後、帰国した際、一定期間を過ぎると日本での実績が無効となるため、技術力があるにもかかわらず、参加する事ができない。そのような技術者も参加できるようにするための制度であり、対象となるプロジェクトは本省が対象工事を抽出し、該当工事については、入札説明書に記載することとしている。</p>
<p><b>3) 令和3年度倉吉管内道路ストックマネジメント検討業務</b></p> <p>Q 1. 説明書3.(3)の同種業務の実績について</p>	<p>A 1. 中国地域に関する知識が豊富であり、行政ス</p>

<p>て、「整備局、西日本高速道路株式会社、中国5県、政令指定都市」と中国地方の行政に限定しているが、意図は何か。</p>	<p>タイトルを理解している業者を選定するために設定している。</p>
<p>Q 2. このような業務を発注した経緯を教えてください。</p>	<p>A 2. 令和8年度に北条道路が開通予定であり、鳥取県の山陰道が全線供用となる。整備効果を供用直後に世の中に伝えるためには、供用前の今年度に基礎調査として資料を作成しておく必要があり、北条道路の開通を見据えた効果の調査を目的として、本業務の発注を行った。</p>
<p>Q 3. 管内に当業務の履行可能な業者は何者程度か。具体的にどの業者が履行可能か把握されているのか。参加表明者数は1者になっているが、対策をどう考えているのか。</p>	<p>A 3. 参加可能者数は83者程度。どの業者が整備効果調査が可能かといった把握はしていないが、渋滞調査・経済調査の実績を持つ業者が83者程度あり、そういった実績を持つ業者は、整備効果の調査も可能であると見込んでいる。</p> <p>競争性を確保するための対策としては、参加表明者数が増えるように、競争参加資格の要件を品質確保が可能な範囲で緩和することを検討したい。</p> <p>また、同種業務の実績について、中国5県で絞っているが、全国に広げるといったことも考えられる。</p>
<p>Q 4. 工期は現在の設定で良いのか。</p>	<p>A 4. 工期は令和4年1月31日となっているが、年度末まで工期延期することとしている。</p>
<p>Q 5. コロナの影響で、平常時の交通状況と異なっていると思うが、業務成果にどう反映しているのか。</p>	<p>A 5. 当業務は、現況の交通量でなく、将来の交通量を推計する業務のため、コロナの影響を除外して検討することとしている。</p>
<p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p><b>4) 令和3年度島根管内自動車起終点調査</b></p>	
<p>Q 1. 当業務と同様な業務を5年に1度実施しているとの事だが、前回と前々回の入札状況を教えてください。同じ業者が実施したり、数者で回していないか確認したい。</p>	<p>A 1. 前は、今回と同じ2者が応札し、今回と同じ業者が落札している。前々回は、3者入札し、今回と異なる者が落札している。</p>
<p>Q 2. もっと多くの業者が履行できそうだが、特殊性があるのか。</p>	<p>A 2. 類似実績においては、過去に起終点調査を実施した者としている。島根管内は9者程度が関心を持っている。県毎に発注しているため、地域による特性があり、業者数も異なっていると推察している。</p>
<p>Q 3. 概要に記載のある「名簿の作成」は、業者がゼロから作成するのか。以前契約した業者</p>	<p>A 3. 名簿データは、中国地方整備局で保管しているものを業者に貸与している。</p>

<p>は名簿を保有しているため有利になるのではないか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p><b>5) 令和3年度広島西部山系5043溪流砂防堰堤外工事</b></p> <p>Q1. 入札説明書2.(14)において、「B等級にあっては中国地方整備局管内、C等級にあっては広島県内～」に分けているが、その意図は何か。また、実際に入札された業者はB等級、C等級どちらであったか。</p> <p>Q2. 「過去2年間の工事成績平均が65点以上である。」と短期間の2年間にしているのはなぜか。</p> <p>Q3. 1者が、「無効」になった理由を教えてください。</p> <p>Q4. 入札調書において、「無効」となった者の標準点が「-」になっているのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A1. 可能な限り、資格要件を広くするためである。入札したのは、B等級1者、C等級2者である。</p> <p>A2. 近年でしっかりした施工をしている業者を評価することとして近2年間としている。65点未満の施工をする業者は品質確保上問題があるため、「×」となる。実績を持っていない業者は「-」となるが、品質確保上問題のある施工をしている実績があることを証するものではないため参加資格は認めている。</p> <p>A3. 調査基準価格未満であったため、施工体制確認の資料を要求したが、未提出だったため無効となっている。</p> <p>A4. 「無効」の者の記載方法として「-」としている。</p>
<p><b>6) 令和3年度土師ダム噴水設備整備工事</b></p> <p>Q1. 入札説明書ダウンロード者数が2者、参加確認申請者数が1者と、参加者数が少ない原因は何か。</p> <p>Q2. 本工事にはポンプ自体の製作も入っているか。 噴水ポンプ4台のうち1台は、平成30年に更新しているが、当工事を受注した業者と同じ業者ではないか。</p> <p>Q3. 平成30年にポンプの更新を受注した業者とは別の業者が参入することが可能な工事か。 可能だとしても、ポンプの製作を一から行うとなると、新規参入者は利益を見込めないのではないか。</p>	<p>A1. 技術者不足や、水質保全工事の発注件数が少なく、利益を確保するノウハウを持った者が少ない事も考えられる。</p> <p>A2. ポンプの製作も入っている。 前回受注した者と同じ業者である。</p> <p>A3. 特定の者しか参加できない工事ではない。 ポンプ自体を自社製作できない場合も、別の複数者から調達し参加することができる。自社製作のほうが利益は見込めるが、他者から調達した場合でも利益を見込めないということではない。</p>

<p>Q 4. 参加者数が少ないため、適切な発注の検討が必要なのでは。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 4. 同種工事を水質保全設備に広げたり、地域性についても全国から募り、余裕期間制度で、工事着手時期も選べるように条件を緩和したが、結果的に参加確認申請者数は1者のみだった。</p> <p>今後、競争性を確保するために、さらに工夫をしていく。</p>
<p><b>7) 令和3年度佐波川真尾地区設計他業務</b></p> <p>Q 1. 落札者以外が「無効」になった理由は何か。</p> <p>Q 2. 調査基準価格を下回った場合は、先方にその旨を伝えるのか。 追加資料の内容や作成期間はどのくらいか。 資料の作成期間が短い場合、ほとんどの業者が追加資料の提出を諦めてしまうのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 当業務は、別業務と併せて2件を一括で審査する一括審査方式で発注しており、本件はそのうちの2件目に該当する業務である。無効になった業者のうちの1者は、1件目の業務を落札した者のため、無効となった。残り2者は、調査基準価格を下回ったため、履行確実性の資料提出依頼をしたが、提出しなかったため、無効となった。</p> <p>A 2. 先方に伝えた上で、履行確実性の追加資料の作成依頼を行う。追加資料の内容は煩雑であり、作成期間も3日程度と短い。資料の審査が通っても、履行に関しては、追加の担当技術者を配置しなければならない。そういった中でも、資料を提出する者や、その結果、落札する業者も存在する。</p>
<p><b>8) 令和3年度西大寺税務署空調設備その他改修工事</b></p> <p>Q 1. 3者が辞退した理由は何か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 他の工事を受注し、技術者が配置出来なくなったためである。</p>
<p>(3) 再苦情処理の審議・報告</p>	
<p>該当事案なし</p>	
<p>(4) その他</p>	
<p>なし</p>	